

なんぶ 社会福祉だより

62



社協の配食サービスです。お変わりありませんか？



調理ボランティアのみなさんが高齢者の方が食べやすいよう工夫した手作りのお弁当を、配達ボランティアの方々が「お変わりありませんか？」と声をかけ、安否確認を行いながら届けて下さっています。地域の支え合いによるお弁当をお届けすることで、ひとり暮らし高齢者等の生活支援の一助ともなり、利用者とボランティアやボランティア同士の交流を深めることにもつながっています。

西伯地区は火曜日・土曜日の昼食、会見地区は火曜日の夕食を有料でお届けします。

利用を希望される方は、社会福祉協議会に直接ご連絡をいただくか、集落の地域福祉委員、民生児童委員、保健師、ケアマネジャーなどにご相談ください。

**感染症対策を
徹底して実施
しています。**

ボランティア募集中

調理・配達にご協力いただける方を募集しています。
ご都合に合わせて参加できるボランティアです。



南部町社会福祉協議会

本 所
会 見 支 所

〒683-0351 法勝寺331-1
〒683-0227 浅井938

TEL 0859-66-2900
TEL 0859-64-3515

令和元年度 事業報告

＜法人運営事業＞

令和元年度は社協運営、事業ともにほぼこれまでの継続事業を安定的に取り組むことができた。その中で①支え愛マップ作り支援②相談支援体制の充実③地域福祉活動計画の策定④小地域の福祉力強化に向けた支援活動を重点目標にかかげ事業を推進した。

また、役員の改選の年だったため、6月には4人の役員の交代があり、新しい役員体制で法人運営を担っていただくことになった。

社協の地域福祉関連事業を推進するために、各世帯単位で一般会費の納入をお願いし、自主財源の確保に努めているが、社協会費、寄付金、共同募金寄付金など社協の自主財源にあたる部分すべてが減額傾向であったため、今後の独自事業の展開に影響が出ることが危惧される。

＜生活相談支援事業＞

一時的に緊急支援が必要な世帯に対しては、「緊急福祉資金貸付事業」「食料支援事業」「フードパートナー事業」の法人独自の事業で対応したが、その他にも日本非常食推進機構から賞味期限が迫った備蓄品の提供もいただいた。共同募金からの助成もいただき、生活困窮者への緊急時の食料支援に活用するための助成事業に取り組むこともできた。

県社協が推進する「えんくるり事業」の「社会資源開発事業」に申請し、町内の三つの社会福祉法人と連携して「子ども服リユース事業」に取り組んだ。10月27日の「南部町ボランティアフェスティバル」で実施した子ども服の譲渡会は大変好評であった。更に「学生服リユース事業」もはじめており今後も継続する予定である。

自立支援事業では様々な相談を受ける中でも、複雑な問題を抱えているケースも多く、その内容に応じた関係機関と適切に連携を取りながら継続的な支援を行っている。

ひきこもり傾向の方の社会参加を支援する相談窓口「地域若者支援センター」には新規相談がほとんどなく、日中活動の場としての「いぐらの郷」につなげることができなかった。

記憶力や判断力が低下している方に対して、書類や通帳などを預かり、日常的に金銭管理や福祉サービス利用支援を行う日常生活自立支援事業の利用者は年々増加している。

＜地域福祉推進事業＞

南部町が策定する「地域福祉計画」と社協が策定する「地域福祉活動計画」を併せ一体的に「地域福祉推進計画」として作成するため各団体・機関にヒヤリングを行った。目標を定め令和2年度中に完成予定として取り組んだ。

直接集落に出かけて行き、支え愛マップづくりなどを通じて「災害時における支え愛地域づくり推進事業」への集落の取組みを支援した。

「いきいきサロン活動」支援を目的とした「買い物ツアー」は範囲を広げ、町外にも対応できるようにした。

小地域での福祉活動支援として年間を通じて「天萬」集落でのいきいきサロンの取組みへの支援を行った。

＜ボランティアセンター事業＞

小学5・6年生と中学生を対象とする「夏休みボランティア体験事業」には今年度も多くの児童・生徒の皆さんに参加いただいた。更に学校での福祉教育の一環として、町内の小学校に出前講座に出かけ、福祉のこころを学んでいただく活動を行った。

平成24年度から現在の場所や内容で継続実施している「南部町ボランティアフェスティバル」は参加団体の負担感の増大や目的の曖昧さ、内容のマンネリ化なども見られるため、参加団体にアンケートを実施した結果をもとに検討委員会を開催した。様々な意見をいただき少し時間をかけて目的や方法を見直すこととなった。

「あいのお銀行」による記録活動は減少したが、移送サービス・買い物代行・身の回りの世話・ゴミ出し、ごみ分別のサービス内容の預託活動が増大し、個別の生活支援サービスへの対応ができた。

＜地域生活支援事業＞

調理ボランティア・配達ボランティアの協力のもと、西伯地区は火曜日と土曜日の昼食、会見地区は火曜日の夕食のお弁当を届ける「配食サービス」も順調に実施することができた。

福祉バスの運営、管理に関しては、平成12年から稼働し、福祉団体の活動に役立ってきた「しあわせ号」を廃止し、普通運転免許で運転できるワゴン車を購入。10人以下でも運転手付きで利用いただけるように福祉バスの使用方法の見直しを行った。

令和元年度決算 資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

(単位：円)

収 入		支 出	
会 費 収 入	3,286,000	人 件 費 支 出	41,110,886
寄 付 金 収 入	2,650,564	事 業 費 支 出	3,751,928
補 助 金 収 入	42,025,859	事 務 費 支 出	12,980,282
受 託 金 収 入	11,887,100	そ の 他 の 支 出	4,168,812
事 業 収 入	1,756,212	共同募金助成金事業費	1,505,150
受取利息配分金収入	8,024	助 成 金 支 出	4,535,827
そ の 他 の 収 入	934,025	負 担 金 支 出	48,100
固定資産売却収入	1,137,280	固定資産取得支出	5,133,188
長期貸付金回収収入	163,000	長 期 貸 付 金 支 出	274,480
収入合計	63,848,064	支出合計	73,508,653

収支不足額については、平成30年度末資金残高より補填

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

会計名	資産の部		負債の部	
一般会計・公益事業特別会計合算	流動資産	95,468,701	流動負債	9,908,596
	現金預金	94,236,645	事業未払金	5,228,241
	未収金	1,212,636	未払費用	603,322
	仮払金	19,420	職員預り金	1,172,398
			賞与引当金	2,904,635
			負債合計	9,908,596
	固定資産	76,746,676	純資産の部	
	基本財産	2,000,000	基本金	2,000,000
	その他の固定資産	74,746,676	国庫補助金等特別積立金	33,213,591
	土地	3,500,000	国庫補助金等特別積立金	33,213,591
	建物	54,928,987		
	車両運搬具	13,699,244		
	器具及び備品	2,129,645		
	ソフトウェア	293,040		
	長期貸付金	141,480	次期繰越活動増減差額	127,093,190
	長期前払費用	54,280	(うち当期活動増減差額)	-8,724,251
			純資産の部合計	162,306,781
	資産の部合計	172,215,377	負債及び純資産の部合計	172,215,377

令和2年度事業計画

〈重点目標〉

- ①地域福祉推進計画の策定
- ②福祉人材育成と社協事業見直し
- ③関係機関との連携強化
- ④支え愛マップづくり等を通じた支え合い活動の推進

主な実施計画

1. 法人運営事業

- (1) 法人組織の基盤づくり
- (2) 社協活動基盤強化への取り組み
- (3) 広報啓発活動の実施

2. 地域福祉推進事業

- (1) 地域福祉ネットワーク活動
- (2) いきいきサロン活動支援事業
- (3) 福祉活動への啓発および活動支援事業

3. 生活相談支援事業

- (1) 総合相談事業の実施
- (2) 福祉資金貸付相談の実施
- (3) 日常生活自立支援事業の実施
- (4) 生活困窮者自立相談支援事業の実施

4. ボランティアセンター事業

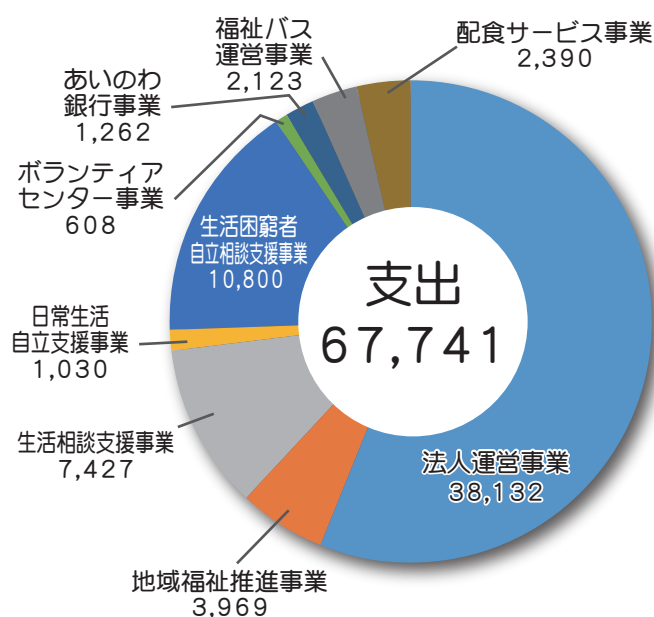
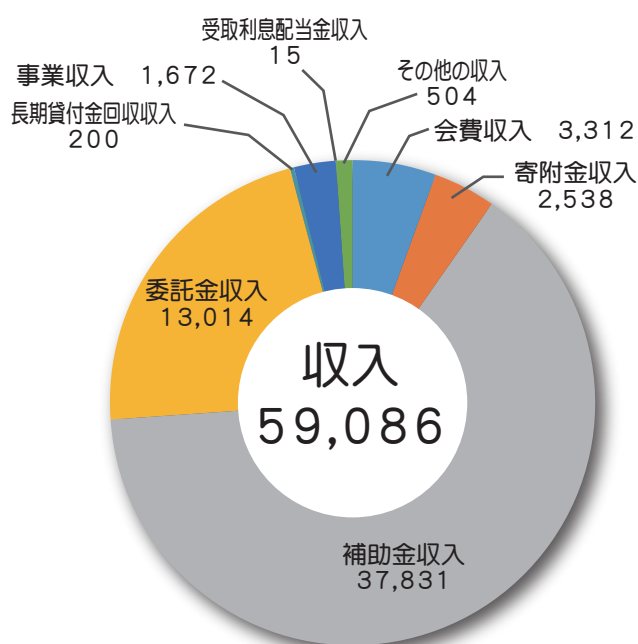
- (1) 福祉教育関連事業
- (2) ボランティアセンター機能の充実
- (3) あいのわ銀行の運営

5. 地域生活支援事業

- (1) 配食サービスの実施
- (2) 福祉バスの運営

令和2年度収支予算

(単位：千円)



収支不足額については、令和元年度末資金残高より補填する

あなたの集落の地域福祉委員さんです。 どうぞよろしくをお願いします。



地区名	集落名	氏 名
東西町	東西町1	片山 公恵
	東西町1	高林 敏美
	東西町2	長谷川千鶴子
	東西町2	池信 恵
	東西町3	吉田 智子
	東西町3	細田 幸子
	東西町4	守屋 啓子
	東西町4	平新 治行
天 津	境	仲田 司朗
	境	渡辺 幸江
	境	宮倉 祐子
	坂根	早田 秀子
	谷川	前谷 千鶴
	谷川	野口 直美
	柏尾	阿部智賀子
	清水川	庄倉三保子
	清水川	大塚恵美子
	フォレストタウン	三浦 常雄
	下阿賀	下田 公江
	下阿賀	高橋 洋恵
	上阿賀	景山 君子
	上阿賀	杉本 京子
	四季	花房 和夫
大 国	原	加納 美栄
	原	瀬尾 文江
	北方	陶山 正己
	長田	船田 東男
	猪小路	持田 久子
	与一谷	小髪 知典
	鍋倉	山岡加奈子
	西	吉村 寿子
	口絹屋	持井 綾子
	奥絹屋	山田 康子
	小原	頼田 和子
	大園田園ハイッ	瀧山 満廣

地区名	集落名	氏 名
大 国	倭	瀬尾 知子
	倭	錦澤 姫美
	倭2区	森 洋一
法 勝 寺	法勝寺1	遠藤 淳子
	法勝寺2	坂口 允司
	法勝寺3	白石 倫子
	法勝寺4	左古 勝代
	法勝寺5	増田 厚子
	法勝寺6	吹野 明美
	法勝寺7	西村 芳子
	法勝寺8	福田 淳
	落合上	森脇 恵子
	落合下	原 環
	落合団地	前田 博美
	三本木	白川ひとみ
	戸構団地	青砥るり子
	菅田団地	横道 知子
	城山	加戸 悦子
南 さ い は く	戸構	赤木 俊之
	上鴨部	三反田伊津子
	下鴨部	遠藤 洋幸
	福頼	川上 稚子
	掛相	山中千加子
	馬佐良	岩崎 一美
	いづみ	石田 房恵
	馬場	長尾るり子
	馬場住宅	岡田 員代
	徳長	藤原みどり
	武信	糸田 由起
	道河内	細田 瞳
	伐株	生田 幸子
	今長	森山まゆみ
	江原	板 智明
	八金	赤井 玲子
	金ヶ崎	福田多美江

地区名	集落名	氏 名
南 さ い は く	二桧	塚田 勝美
	金山	奥山 俊二
	能竹	田中 博美
	賀祥	秦 伯富
	入蔵	長尾ひとみ
	駢牛	足谷由美子
	早田	遠藤佐恵子
	赤谷	遠藤 鈴美
手 間	大河内	長尾 智恵
	笹畑	長尾眞由美
	大木屋	西島 理哲
	天萬	田川 光郎
	天萬	岡本 泰典
	三崎	濱田 敏美
	寺内	内田 教子
	宮前一	三嶋ますみ
	宮前二	新井 弘美
	田住	吉持 明美
	西原	岩田 進
	諸木	佐伯みさ子
	円山	長崎 紀幸
	円山	長束美恵子
	福里	手島 千冬
賀 野	浅井	齋鹿 伸二
	高姫	岡田 揚子
	井上	池田 厚子
	御内谷	梅原 美恵
	金田	細田 義人
	市山	竹内 若子
	縄平	頼田 牧子
	荻名	高橋 ミエ
	朝金	上原 洋一
	上野	井田 厚美
	池野	戸田 昭弘
	鶴田	野口加津子

※任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

地域福祉委員の役割



地域福祉委員の役割は、集落における福祉に関する問題や要望の把握に努め、民生委員さんや社協に連絡することであったり、地域の福祉活動を担っていただくことです。このほかにも色々な役割はありますが、特に住民の皆さんで集落の福祉的な課題や問題にお気づきになった場合には、地域福祉委員さんにご連絡、または社協に直接でも構いませんので情報をお寄せください。地域の課題解決に向けて一緒に取り組んでいければと思います。

生活の中での困り事ひとりで(家族だけで)悩んでいませんか？

失業してしまった

ニート
ひきこもり

子育て・
介護・障がい

家賃・ローン・
税金が払えない

ひとり暮らし
が不安

通院や買い物の
交通手段

お困り事があれば、ひとりで抱えこまず、南部町社会福祉協議会へお気軽にご相談ください。

南部町社会福祉協議会が実施している事業

生活困窮者自立支援事業

経済的に困っている、なかなか就職できない、介護や障がい、子育てなど様々な理由でお困りの方の相談窓口です。必要な機関と連携して解決へのお手伝いをしていきます。

家計相談支援事業

「ローンなどの返済に困っている」、「家計のやりくりがうまくいかない」などの課題について家計相談員が家計表を作成し、計画的な家計支援をいたします。

日常生活自立支援事業

高齢や障がいなどにより金銭管理や福祉サービスの利用手続等に不安のある方に日常的な金銭管理、通帳・印鑑等の預かり、郵便物の管理などの支援を行います。

あいのわ銀行事業

あいのわ銀行とは加齢や障がい等により日常生活を送る上での困りごとに対して生活支援を行う事業です。ボランティアにより買い物・通院などの「移送サービス」等必要なサービスが受けられます。

地域若者支援事業

社会的な参加が困難になっている方々への支援を行うための相談窓口を設置するとともに、様々な体験や活動を通して社会参加を目指す地域共生社会実現拠点施設「いくらの郷」を開設しています。

配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者の方などを対象とした「見守り」を目的としてお弁当をお届けするサービスです。調理、配達はボランティアの方が行います。

お問合せ・ご相談は 南部町社会福祉協議会
電話 66-2900

<http://www.nanbushakyo.com/>
南部町社会福祉協議会ホームページ



<https://ikuranosato.jimdofree.com/>
いくらの郷ホームページ



saihaku01@nanbushakyo.com
南部町社会福祉協議会メールアドレス

令和2年度

災害時における支え愛地域づくり推進事業

～自治会・集落等の支え愛活動を推進するために～



<https://www.youtube.com/watch?v=HaDnCUT09w&t=46s>

本事業紹介動画です。一度ご覧ください。

全国で毎年のように自然災害が発生する中、災害発生時の安否確認や避難体制の整備が、地域における喫緊の課題となっています。特に介護が必要な高齢者や障がい者等の支援には、近隣に住む住民の支援の力が必要です。鳥取県が実施する「災害時における支え愛地域づくり推進事業」は、地域に暮らす支援を必要とする人の情報などをまとめた「支え愛マップ」を住民が主体となって作成する過程で、明らかになった課題を踏まえ、災害発生時の避難支援の体制整備やそれを円滑に進めるための平常時の見守り等の取り組みを進める事業です。

災害発生時の
避難支援の
仕組みづくり

避難支援に係
る課題解決に
向けた取組

支え愛避難所
の設置・運営
に向けた取組

※支え愛マップ例



※この地図は架空のものです。

災害時要支援者対策促進事業

補助限度額：1住民組織あたり7万5千円以内

(昨年度までに災害時要支援者対策促進事業の補助を受けていない住民組織が対象)

災害時要支援者対策ステップアップ事業

補助限度額：1住民組織あたり10万円以内

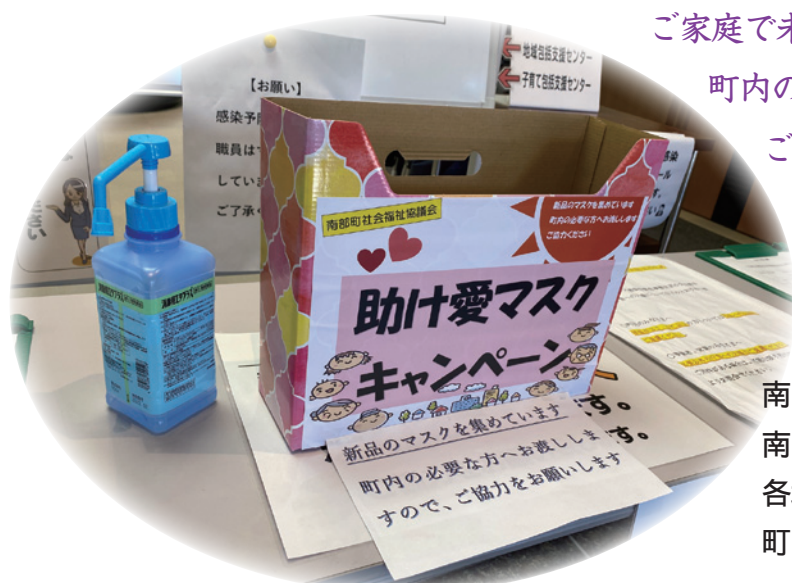
(昨年度までに災害時用支援者対策促進事業の補助を受けた住民組織が対象)

詳細につきましては南部町社会福祉協議会(Tel.66-2900)までお問い合わせください。

ご家庭で未使用の新品マスクを集めています。

町内の必要な所で有効活用させていただきます。

ご協力いただきますようお願い致します。



回収ボックス設置個所

南部町役場法勝寺庁舎・天万庁舎

南部町総合福祉センターしあわせ・いこい荘

各地域振興協議会・健康管理センターすこやか

町内郵便局

ありがとうございました



(令和2年6月11日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金など、地域の福祉活動の財源として活用させていただいています。

香典返し

(敬称は省略させていただきました。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
赤井 亘	朝金	二葉	金一封
赤井 きく江	金田	謙二	金一封
細田 学志	縄平	美智子	金一封
秋田 康一	武信	正義	金一封
檜垣 博子	天萬7番組	都田夏樹	金一封
足立 貴範	馬場	喜典	金一封
遠藤 玲子	赤谷	強	金一封
山本 和信	金山	登美子	金一封
板持 年昭	浅井	虎治	金一封
岩田 芳恵	諸木	瀧子	金一封
乾 明秀	金山	光枝	金一封
山本 勢津子	小原	遠藤市雄	金一封
幅田 誠	八金	功枝	金一封
前田 耕富	馬場	博之	金一封
赤井 妙子	田住	睦子	金一封

寄付者名	集落名	故人名	金額
藤井 千秋	辭牛	阜月	金一封
寄田 憲文	上阿賀	朝江	金一封
影山 貴昭	上鴨部	恵津子	金一封
足羽 昇	御内谷	美代子	金一封
秦岡 敦史	長田	幾雄	金一封
前田 秀明	いずみ	まさ子	金一封
門原 英秋	高姫	恵美子	金一封
高野 俊明	東西町	時子	金一封
野口 喬	谷川	幸子	金一封
伴藤 一徳	北方	亨	金一封
小早川 徹榮	高姫	房子	50,000円
北尾 勝	原	久榮	金一封
古木 郁夫	三崎	直子	金一封
梅原 聡	御内谷	美代子	金一封

見舞い返し

一般寄付

寄付者名	寄付内容
(株)寿電気	寄付金 50,000円
金田さくら会	寄付金 10,000円
日本海新聞ふるさと創り事業団	マスク 100枚
ライオンズクラブ国際協会	マスク 200枚
匿名	手作りマスク 53枚
JA 鳥取いなば JA 鳥取中央 JA 鳥取西部 JA 共済連鳥取	マスク 200枚 除菌水 40ℓ

寄付者名	集落名	金額
板持 年昭	浅井	金一封
板持 秀	宮前一	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

新職員紹介



1名の職員が採用になりました。よろしくお願ひします。

5月11日採用 臨時職員 吉村 千笑

編集後記

我が家には、家族同様に付き合っているネパール人の夫婦が米子に住んでいます。昨秋には、彼らの両親と弟が遊びに来てくれました。両親は日本語が堪能でカトゥマンズでホテルを経営しているとの事。その縁で今年二月ネパールに行ってきました。以前行ったことがあるのですが、八年も前の事。今回は関空から直行、七時間で到着、その頃ネパールはコロナの心配もなく、日本よりネパールの方が安心できる状況でした。空港には、車でお父さんが迎えに来てくれていました。空港も新しくなり、以前より大きく美しい建物に変わっていました。今回は人も増え、道路は車とバイクで溢れ、大変な交通事情となっていました。時間がゆっくり流れるイメージがありました。時間が見え隠れする首都カトゥマンズの本影が見え隠れする首都カトゥマンズでした。ホテルで三日間、お世話になり観光地ポカラに飛行機移動。天候もよく八千メートル級ヒマラヤ山脈の出迎えを受け、久々の感動でした。二週間前からネパールに来ていた娘の案内で、山岳に住む以前知り合った家族の元へ出発、以前はバスも通らない行き止まりの道路も、舗装され車も通うきれいな道路になっていました。八年ぶり、全員元気で再会を喜びました。夕方には水牛カレーを振る舞ってくれ全員で食し、会話が花が咲き、楽しい時間が過ぎました。その家の子どもは二人男の子。特に兄の方は、十一歳で日本語が少し話せ、文字も少し書けると、ノートを見せてくれました。彼は学校一の秀才、土産に持って行った文房具を大事に使って今日も勉強に励んでいることでしょう。

(H・A)